

DAY1

歳入全般と、市長公室、総務部、財政部、市民部、玉山総合事務所などの歳出を審査

◎質問ピックアップ

市史の編さんに当たっては、編さんが中断した過去を総括した上で取り組むべきでは。

答 昭和45年ころに市史編さん委員会が解散し、昭和中期以降中断している。歴史を途絶えさせることのないよう、過去をひもときながら今の時代につないでいく。

そのほかの主な質疑

- ・ 2年度税制改正に伴う市財政への影響
- ・ 2年度以降に取り組む新たな震災復興推進事業
- ・ 性の多様性理解促進事業で実施する研修の詳細

DAY2

保健福祉部、子ども未来部、玉山総合事務所、教育委員会の歳出と、市立病院の歳入・歳出を審査

◎質問ピックアップ

放課後児童クラブの増設計画や放課後児童支援員の確保策は。

答 元年度から5年度にかけて、クラブ15カ所の増設を計画している。現在県が実施する支援員の認定資格研修を市で実施するよう検討するほか、支援員候補者の研修受講に向けた周知など支援する。

そのほかの主な質疑

- ・ ひまわり学園の民間譲渡の経緯と利用者へのサービス向上策
- ・ 第7期介護保険事業計画の取り組み状況と次期計画の重点施策

2年度予算は どうなる！？

～予算審査特別委員会で集中審査～

議長を除く37人の議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、2年度一般会計予算など当初予算議案15件を4日間にわたり審査しました。

◎2年度当初予算の概要

| | | |
|------|-------------|-------------|
| 一般会計 | 1148億9000万円 | (前年度比3.0%↑) |
| 特別会計 | 577億8305万円 | (前年度比2.6%↑) |
| 企業会計 | 301億3176万円 | (前年度比0.6%↓) |
| 合計 | 2028億482万円 | (前年度比2.3%↑) |

DAY3

環境部、商工労働部、農林部、玉山総合事務所、農業委員会などの歳出を審査

◎質問ピックアップ

東京都文京区内の大学と連携し、玉山地域の農業の高度化の促進などに取り組む事業について、参加する大学の見通しは。

答 東洋大学、跡見学園女子大学、東京大学、拓殖大学などとの連携を予定しており、学生ならではの視点を事業に生かしたい。

そのほかの主な質疑

- ・ 事業系ごみ減量推進に向けた搬入規制の詳細
- ・ 外国人観光客誘致のためのCityWi-Fi導入事業の内容
- ・ 有害鳥獣対策事業におけるジビエ加工施設設置の可能性

DAY4

建設部、都市整備部、玉山総合事務所の歳出と、上下水道局の歳入・歳出を審査

◎質問ピックアップ

大雨時の汚水のオーバーフロー対策と、汚水受け入れ量制限の解消に向けた県との協議状況は。

答 原因である雨水の流入防止を松園地区などで実施している。県では、施設維持の観点から受け入れ量制限は必要だとしているが、引き続き対応について協議する。

そのほかの主な質疑

- ・ 社会資本整備総合交付金を活用した道路整備の進捗状況
- ・ 紺屋町番屋の改修予定と市内の景観重要建造物の管理状況
- ・ 盛岡城跡公園の石垣修復の優先順位と市民への危険性の周知

新型コロナウイルス感染症への対応

補正予算審査特別委員会を開き審査

新型コロナウイルス感染症に対応するための必要経費として、1億7991万円を追加する元年度一般会計補正予算（第6号）について、3月26日に議長を除く全議員で構成する補正予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

審査の過程で、衛生用品の購入経費の算定根拠と納品時期の見込みや、観光業および宿泊業への影響と支援策などについて質疑がありましたが、可決すべきものと決まりました。

経済支援拡充を求める意見書を全会一致で可決

「新型コロナウイルス感染症に係る経済支援拡充を求める意見書」を国へ提出する議員発議案について、議員全員の賛成により可決されました。意見書の要望内容は次のとおりです。

国が大規模減税と数十兆円に及ぶ補正予算を組むことで、影響を受けた全ての国民一人一人に適切な対応を行うとともに、自治体への景気対策特別交付金の支給など「コロナショック」に対する景気対策を速やかに実施すること。

常任委員会の審査

3月定例会において4つの常任委員会が開かれ、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長から、13日および26日の本会議で報告されました。

総務 常任委員会

元年度一般会計補正予算、盛岡市職員定数条例の一部改正など議案14件について審査しました。審査の過程で、盛岡南公園球技場の照明設備整備後の維持管理費の見込みや、市定員管理計画と職員定数の推移などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第45号】

令和元年度盛岡市一般会計補正予算（第5号）

問 「いわてグルージャ盛岡」のホームスタジアムである盛岡南公園球技場に照明設備の整備を予定しているが、整備後は相当額の維持管理費が必要となると考える。どのように賄っていくのか。

答 どの程度の維持管理費を要するのか、現時点では積算できていない。今後他の施設も参考にしながら、利用状況や維持管理費の推移を踏まえ、使用料や指定管理料の見直しを検討する。

教育福祉 常任委員会

元年度一般会計補正予算など議案12件について審査しました。審査の過程で、プレミアム付商品券の購入者数が当初見込みを下回った要因と期限内の利用を促す周知方法、小中高等学校での校内通信ネットワーク整備の概要などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第45号】

令和元年度盛岡市一般会計補正予算（第5号）

問 ICT環境の整備を目指す「GIGAスクール構想」の実現により、市内小中高等学校に校内通信ネットワークが整備される。パソコン導入の前提として、正しい活用のための情報リテラシー教育が必要だと考えるが、見解は。

答 読解力が低いとの調査結果もあることから、収集した情報の中で正しい判断を行うため、情報活用能力を高めることが学習指導要領で強く求められている。

産業環境 常任委員会

元年度一般会計補正予算など議案7件について審査しました。審査の過程で、太陽光発電システム等設置費補助金の交付件数の推移などの質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、「気候変動に関する非常事態宣言」についての請願は不採択とすべきものと決まりました。

【議案第45号】

令和元年度盛岡市一般会計補正予算（第5号）

問 太陽光発電システムは、環境面への効果だけでなく、災害時に電力を確保できる点からも有効である。設置費補助金の交付件数の推移は。また、設置促進に取り組むべきだと考えるが、所見は。

答 交付件数の実績は、平成29年度が185件、平成30年度が138件、元年度の見込みが121件である。補助金制度を周知する中で、積極的に啓発活動を行いながら、件数の増加に努める。

建設 常任委員会

元年度一般会計補正予算など議案17件について審査しました。審査の過程で、境田川原踏切の整備状況と工事時の通行への影響や、未就学児童が日常的に移動する経路の安全確保に向けた市内での連携強化策などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第45号】

令和元年度盛岡市一般会計補正予算（第5号）

問 交通安全対策特別交付金事業は、保育園などが実施した緊急点検の結果を踏まえ安全確保対策を実施するが、施工内容は。また、今後も市内で連携して取り組むべきだと考えるが、所見は。

答 歩行者と車両の接触防止のためラバーポールや車両止めを設置するほか、舗装や側溝の修繕など市内24カ所に対策を施す。今後も市内で連携しながら予算確保に努め、道路の維持管理を進める。

議会活動レポート

各委員会が視察を実施

総務常任委員会

バイスタンダーサポートカード（兵庫県加古川市）・地方創生の取り組み（兵庫県明石市）・ご遺族手続き支援コーナー（静岡県藤枝市）

教育福祉常任委員会

ヘルスアップ尼崎戦略事業（兵庫県尼崎市）・スポーツ部活（静岡県磐田市）・市立船橋高校の部活動の取り組み（千葉県船橋市）

産業環境常任委員会

グリーンレジリエンスの取り組み（浜松市）・湘南藤沢フィルムコミッション事業（神奈川県藤沢市）・観光立市推進アクションプランの取り組み、独自の経済波及効果分析ツールの観光分野における活用状況（神奈川県横須賀市）

建設常任委員会

歴史的景観を活かしたまちづくり（広島県竹原市）・下水道の雨水、浸水対策（兵庫県西宮市）・上下水道事業の取り組み（滋賀県大津市）

人口減少対策特別委員会

子育て支援施策（栃木県宇都宮市）・移住、定住支援施策（静岡県）・子育て支援施策（千葉県松戸市）

スポーツ振興特別委員会

スポーツホームタウンの推進（静岡市）・総合型地域スポーツクラブ（愛知県半田市）・スポーツ、身体活動による健康増進と医療費抑制効果（千葉県柏市・㈱つくばウエルネスリサーチ）

労働・雇用創出特別委員会

地域を担う人材育成、若者と地元を結びつける活動（福井県鯖江市・NPO法人エル・コミュニティ）・商工会等と連携した創業支援事業（滋賀県東近江市）・スマートシティ会津若松の取り組み、スマートシティAICT（福島県会津若松市）

ICT活用特別委員会

高梁川流域圏データポータル「data eye」（岡山県倉敷市）・地域課題解決プログラム「Urban Innovation Kobe」、オープンガバメントの推進（神戸市）・RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）（茨城県つくば市）

市政調査会が定期研修会を開催

2月4日に八幡平市など盛岡広域8市町の議員を交えて研修会を行いました。弘前大学COI研究推進機構の村下公一教授から「健康ビッグデータと最新科学がもたらす健康長寿社会」について説明を受けました。